

平成 20 年度生理学研究所研究会

## 細胞死研究の多面的、包括的理解に向けて

日時：平成 21 年 3 月 17 日（火）～ 3 月 18 日（水）

場所：生理学研究所 1 階会議室

提案代表者：清水 重臣（東京医科歯科大学 難治疾患研究所）

所内対応教員：岡田 泰伸（機能協関部門）

### プログラム

#### 3 月 17 日（火）

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 12 : 30-12 : 35<br>(5 分)  | はじめに<br>清水 重臣（東京医科歯科大学難治疾患研究所）  |
| 12 : 35-13 : 05<br>(30 分) | Fas 下流分子の多様な生理機能<br>米原 伸（京都大学大学院生命科学研究科）  |
| 13 : 05-13 : 35<br>(30 分) | TNF シグナルに関与するアダプター分子による細胞死と炎症の制御<br>中野 裕康（順天堂大学医学部）   |
| 13 : 35-14 : 15<br>(40 分) | NLR ファミリー：新しい細胞死と炎症の接点<br>須田 貴司（金沢大学がん研究所）<br><ショートトーク> ASC：新しいアポトーシスとネクローシスの接点<br>茂谷 康（金沢大学がん研究所）                |
| 14 : 15-14 : 30<br>(15 分) | 休憩  |
| 14 : 30-15 : 00<br>(30 分) | Impacts of AIM (Apoptosis Inhibitor of Macrophage) on Metabolic Diseases and Beyond<br>宮崎 徹（東京大学医学系研究科疾患生命工学センター） |
| 15 : 00-15 : 30<br>(30 分) | 膜形レクチン CD72 と B リンパ球アポトーシス<br>鏑田 武志（東京医科歯科大学疾患生命科学研究部）  |
| 15 : 30-16 : 00<br>(30 分) | 光タンパク質プローブを用いた生理機能の可視化と解析技術<br>小澤 岳昌（東京大学大学院理学系研究科）   |
| 16 : 00-16 : 30<br>(30 分) | 細胞死シグナルの多彩な生理機能<br>三浦 正幸（東京大学大学院薬学系研究科）   |
| 16 : 30-16 : 45<br>(15 分) | 休憩  |
| 16 : 45-17 : 15<br>(30 分) | 新規に同定したオートファジー機構の生理機能解析<br>清水 重臣（東京医科歯科大学難治疾患研究所）   |

